

平成 28 年度事業 中間報告書 (12 月 1 日現在)

コース	<input checked="" type="checkbox"/> 自主事業コース <input type="checkbox"/> 協働市民提案コース <input type="checkbox"/> 協働行政提案コース		
事業名	「一汁一菜食」から学ぶ倉敷の文化		
団体名	「倉敷のかあさん」MammaCafe		
市担当課名			
総事業費	885,000 円	市の負担額	300,000 円
<p>①事業の概要 *事業の全体像を簡潔に記入してください。</p> <p>倉敷美観地区町家で「一汁一菜食」にこだわったランチを提供する。その中で「倉敷の文化を伝える」ワークショップを開催し、情報交換の場にもなり、地元の人たちの憩いの場、観光に来た人たちとのふれあいの場にもなる。特に社会に馴染みにくい若者たちが、ランチ提供やワークショップの手伝いをする、中間的就労体験の場を目指している。</p>			
<p>②事業の成果</p> <p>*平成 28 年度申込書 (様式第 2 号-1) に記載した「⑥事業の成果」に対応する 12 月 1 日までの成果を記入してください。また、実施した事業の詳細は「⑤事業実施記録」に記入してください。</p> <p>「一汁一菜食」の提供を通して若者は、地域の方や観光客と接し、働くことに自信をつけることができる。また、カフェの運営には、色々な工程がある。接客が苦手な人には、裏方の仕事だったり、開店前や後の準備・片付け、ご近所への案内をポスティングしたり、チラシ作り、など色々な仕事に携われる。それぞれにできることから、また少しの時間からでも無理のないところで出来るので、少しずつ自信をつける事ができる。それが自立へと踏み出す一歩となる。</p> <p>またカフェに来ることで、町家周辺に住む人、特に高齢者の方々が、若者との交流や、観光に来た方々との交流ができ、生きる糧ともなりうる。</p> <p>年々倉敷美観地区を訪れる観光客が増えている様子であり、東町周辺の活性化にもつながっている。最近海外からの観光客が訪れる。日本の文化にもふれてもらえる。</p> <p>「若者を語る会」を実施したことで、他の団体との交流が出来情報交換の場になっている。また、働きたい人の受け入れが出来てもいる。</p>			
<p>*事業の成果を自己評価すると何点になりますか。計画通りであれば 100 点とします。</p> <p>なお、想定を大きく上回る成果を得ている場合は 100 点を超える点数を記入してください。</p>			<p>120 点</p>

③事業の課題 *事業を実施する中で浮上してきた課題を記入してください。

スタッフが、働き手でもあるため、相談に来た人の対応や、話し相手になれず、居場所的な場所の開催が難しい。

④事業実施記録 *実施した事業の詳細を記入してください。

実施内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
カフェ開催	4月～11月 14回	倉敷東町町家 トラスト事務所	毎回4、5名	アルバイト体験者毎回2、3名 カフェ利用者 毎回平均30名
若者を語る会	6月19日 10月23日	同上	同上	参加者17名 11名
七夕飾りをしよう	8月7日	同上	同上	カフェのお客様に七夕飾りを作ってもらった。 その他、遊びに来てくれた人 10名

⑤目標の進捗状況 *事業実施前に設定した目標のうち、特に力を入れて取り組んでいる目標を2つまで記入してください。また、その目標の進捗状況をパーセントで記入してください。すでに達成できている場合は100%になります。

若者のアルバイト体験 100%

カフェ開催 100%